

令和2年度
網走市における景気動向調査
<第Ⅲ四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間	1
1-2. 調査対象	1
1-3. 調査方法	1
1-4. 回収状況	1

第2章 概況

2-1. 全体の動き	2
2-2. 業種別の動き	3

第3章 各判断項目回答割合と天気図

3-1. 記号説明	4
3-2. 各業種の動向	4
3-3. 採算	7

第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数	8
4-2. 回答割合	8

第5章 産業別設備投資の状況

表1. 業種別設備投資の動向	9
表2. 業種別設備投資の内容	9

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

業界の景気動向等その他のご意見	10
-----------------	----

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点: 令和2年10月1日(木)~2年12月31日(木)

(2) 調査対象期間: 令和2年10月~12月期実施、及び令和3年1月~3月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(24件)、卸売業(20件)、小売業(40件)、サービス業(44件)の158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

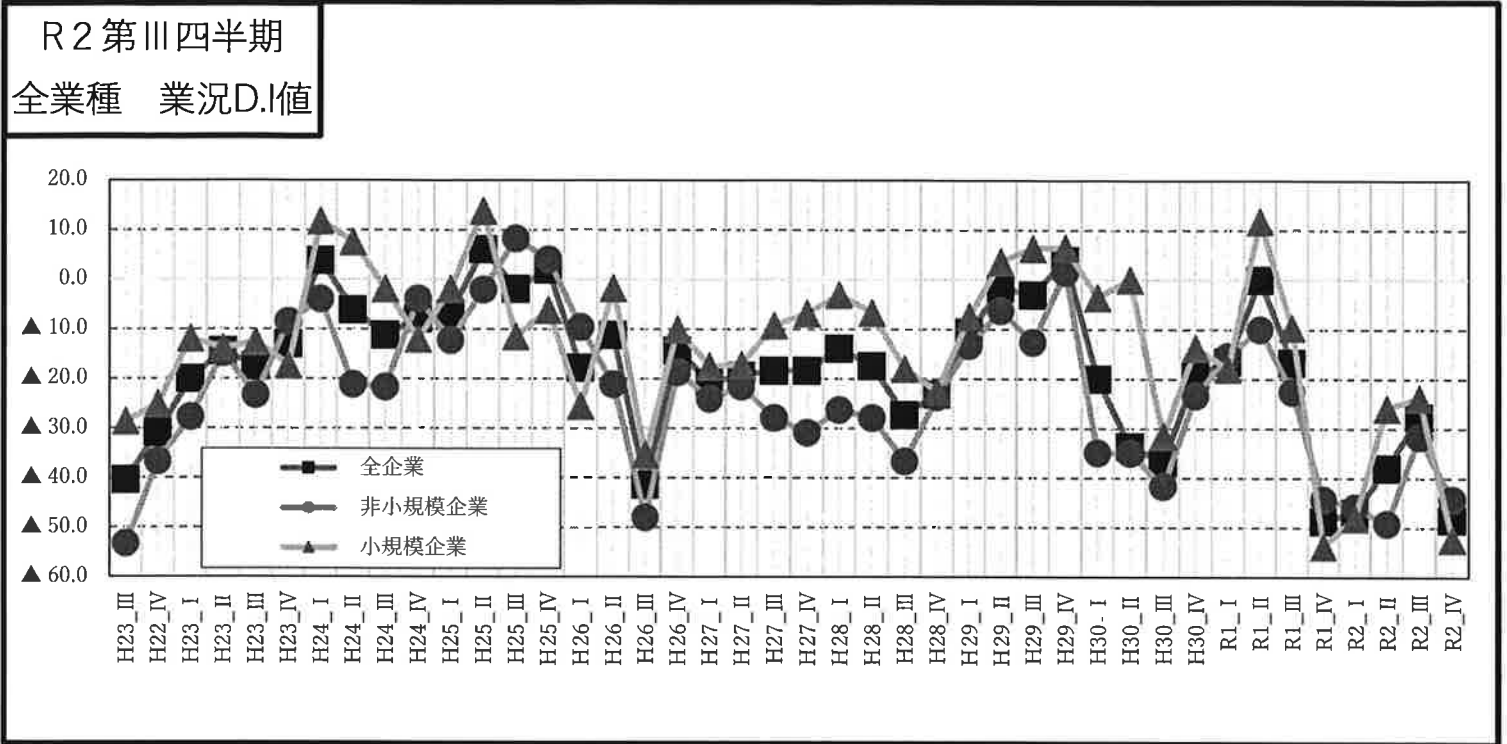
調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

1-4. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	30 件	28 件 (非小規模企業: 14 件) (小規模企業: 14 件)	93.3 %
製造業	24 件	20 件 (非小規模企業: 8 件) (小規模企業: 12 件)	83.3 %
卸売業	20 件	16 件 (非小規模企業: 9 件) (小規模企業: 7 件)	80.0 %
小売業	40 件	28 件 (非小規模企業: 15 件) (小規模企業: 13 件)	70.0 %
サービス業	44 件	32 件 (非小規模企業: 15 件) (小規模企業: 17 件)	72.7 %
合計	158 件	124 件	78.5 %

第2章 概況

2-1. 全体の動き



令和2年度第Ⅲ四半期（10月～12月）の業況は、前年同月比で「好転企業」16.1%「悪化企業」43.5%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は▲27.4、前期と比較してポ9.7ポイント好転しました。

業種別で見た業況は建設業が11.8ポイント改善し▲3.6、製造業は22.9ポイント改善し▲35.0、卸売業19.6ポイント改善し▲18.8、サービス業1.7ポイント改善し▲25.0、小売業0.1ポイント悪化し▲53.6と4業種で好転傾向を示し、特に製造業、卸売業は第Ⅱ四半期と比べてさらに改善しました。

次期（1月～3月）の業況判断D.I値は、今期と比べ18.0ポイント悪化し、▲48.4を予想しております。業種別では建設業1.0ポイント悪化し▲35.7、製造業19.2ポイント悪化し▲35.0、小売業32.2ポイント悪化し▲67.9、サービス業32.7ポイント悪化し▲59.4、卸売業22.5ポイント改善し▲31.3、第Ⅱ四半期との比較でさらに悪化しているところが多く、深刻な状況が続いています。

今期の課題として「人材不足」「人件費増」「諸経費増」を問題にしている企業が増え、依然として「売上の不振」を問題にしている企業は多くあります。今期の特徴としては「売上の不振」「人材不足」「得意先減少」が挙げられます。

全体としては、R1 第Ⅳ四半期から R2 第Ⅲ四半期にかけて新型コロナウイルス感染症の影響により悪化傾向を示す企業は依然として多くあります。今期は少し改善傾向を示しましたものの5期連続でマイナス水準になり、不透明感が強く、予断を許さない状況にあります。

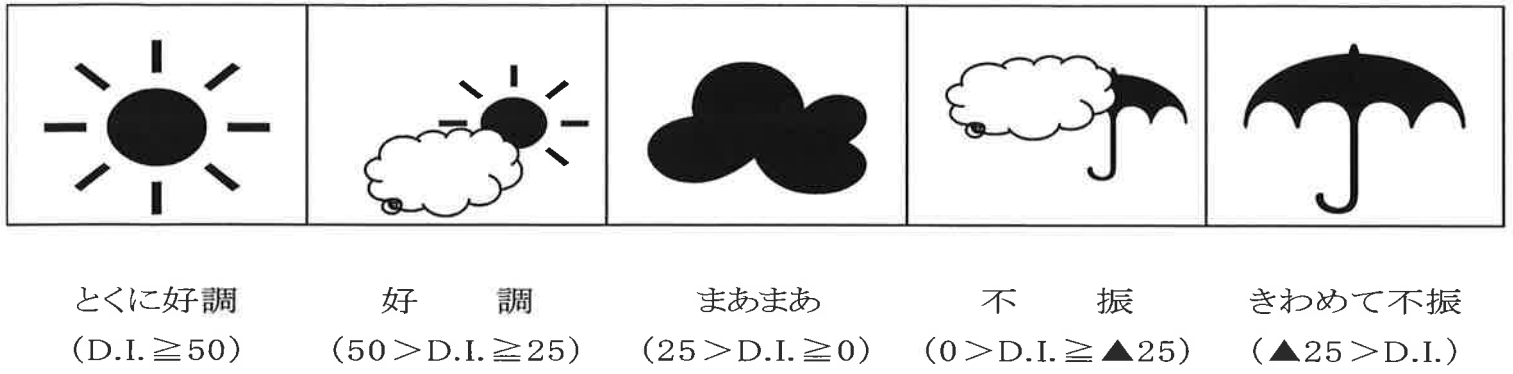
全業種とも経営改善に向けた対応や対策が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

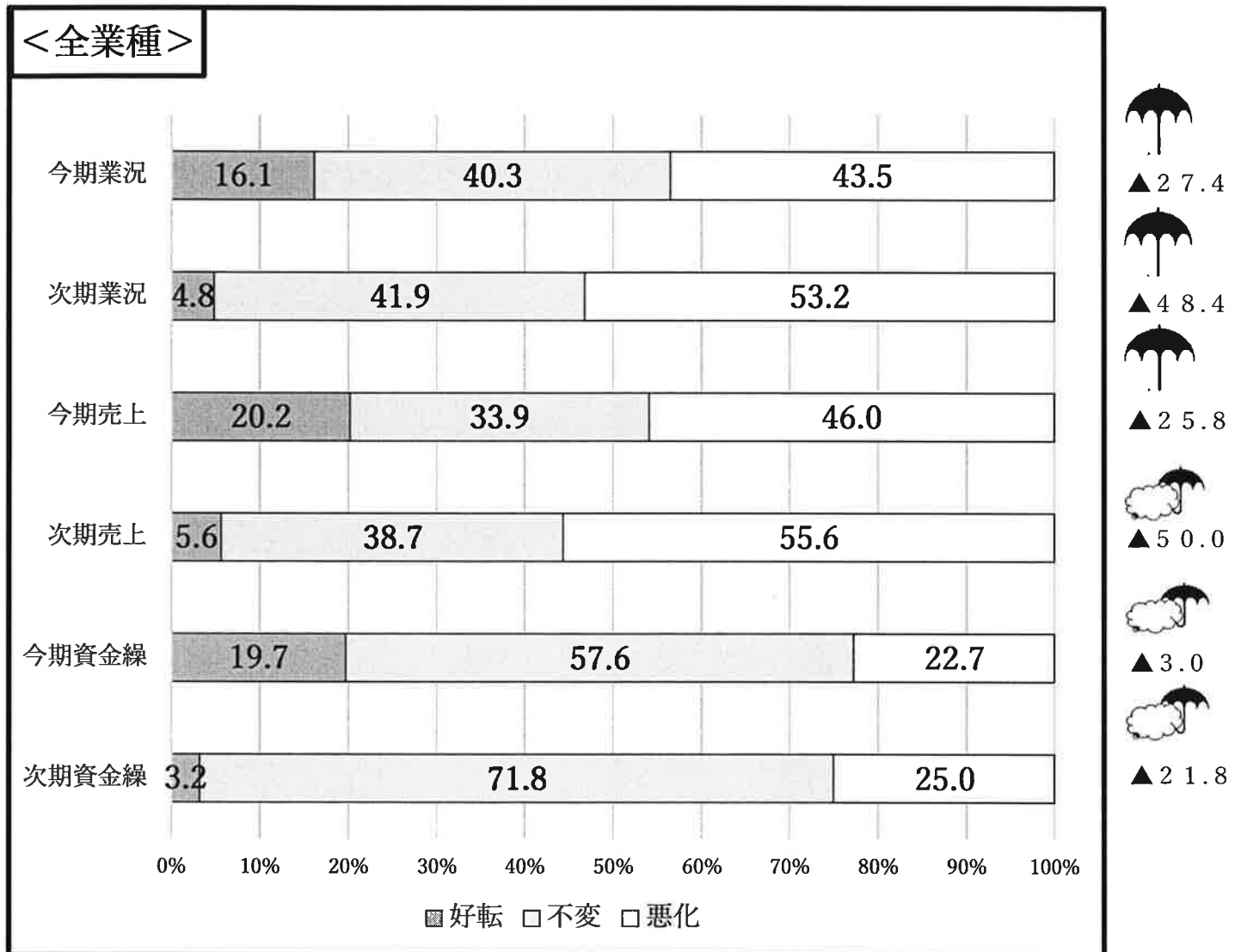
	規模/項目	売上高 (完成工事高)			採算			次期 (D.I 値)		
		増加	減少	DI 値	増加	減少	DI 値	業況	売上	資金繰
建設業	小規模	35.7	35.7	0.0	50.0	21.4	28.6	▲ 50.0	▲ 57.1	▲ 28.6
	非小規模	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	▲ 7.1	▲ 21.4	▲ 21.4	▲ 14.3
	全体	21.4	17.9	3.5	25.0	14.3	10.7	▲ 35.7	▲ 39.3	▲ 21.4
製造業	小規模	8.3	58.3	▲ 50.0	16.7	41.7	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 8.3
	非小規模	25.0	37.5	▲ 12.5	12.5	50.0	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0
	全体	15.0	50.0	▲ 35.0	15.0	45.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 5.0
卸売業	小規模	28.6	42.9	▲ 14.3	14.3	42.9	▲ 28.6	0.0	0.0	▲ 42.9
	非小規模	33.3	55.6	▲ 22.2	11.1	55.6	▲ 44.4	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 22.2
	全体	31.3	50.0	▲ 18.7	12.5	50.0	▲ 37.5	▲ 31.3	▲ 31.3	▲ 31.3
小売業	小規模	7.7	53.8	▲ 46.2	16.7	50.0	▲ 33.3	▲ 69.2	▲ 53.8	▲ 15.4
	非小規模	13.3	73.3	▲ 60.0	6.7	60.0	▲ 53.3	▲ 66.7	▲ 73.3	▲ 26.7
	全体	10.7	64.3	▲ 53.6	11.1	55.6	▲ 44.5	▲ 67.8	▲ 64.3	▲ 21.5
サービス業	小規模	35.3	47.1	▲ 11.8	23.5	35.3	▲ 11.8	▲ 64.7	▲ 76.5	▲ 23.5
	非小規模	14.3	57.1	▲ 42.9	21.4	57.1	▲ 35.7	▲ 53.3	▲ 60.0	▲ 33.3
	全体	25.8	51.6	▲ 25.8	22.6	45.2	▲ 22.6	▲ 59.4	▲ 68.7	▲ 28.2

第3章 各判断項目回答割合と天気図

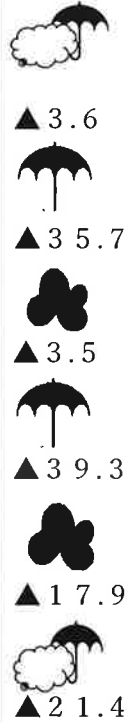
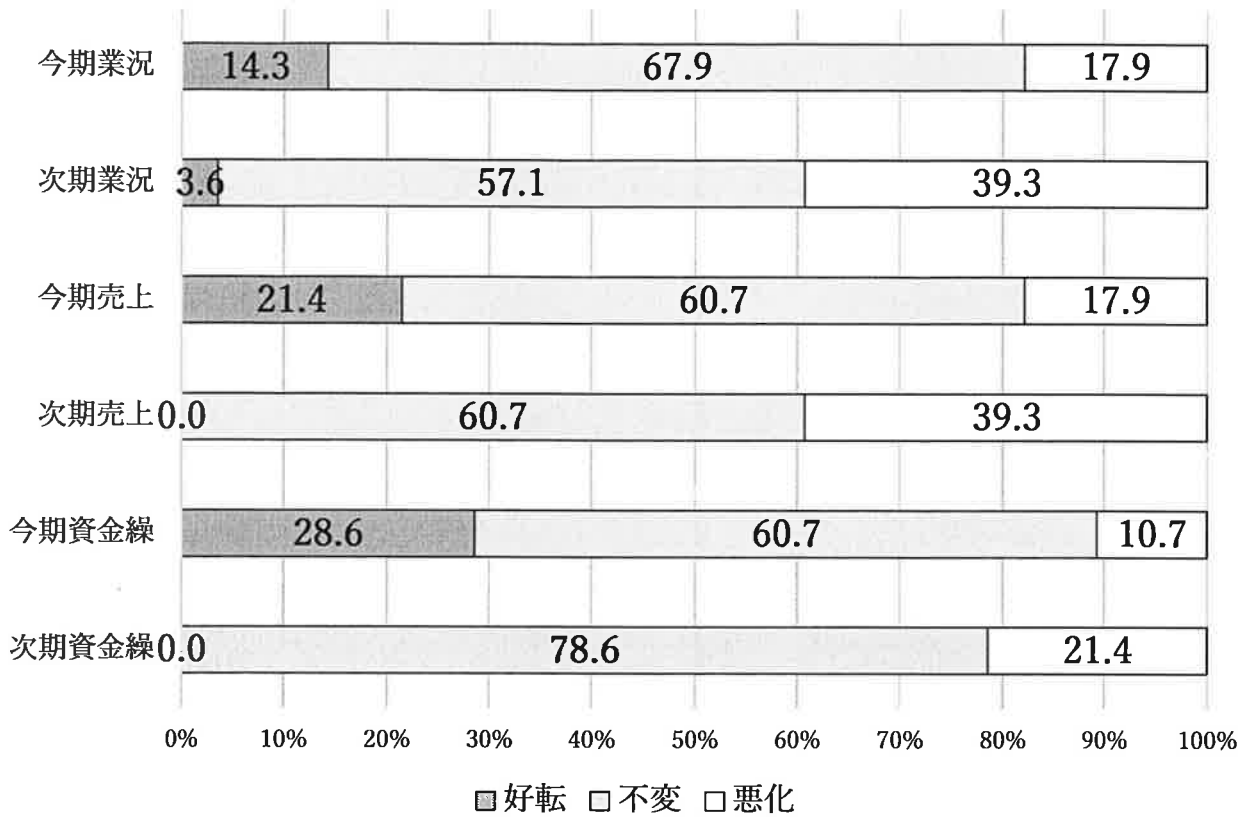
3-1. 記号説明



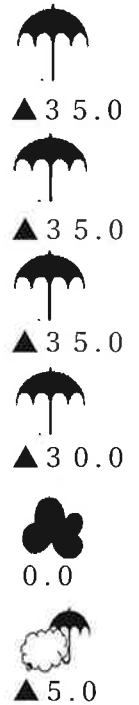
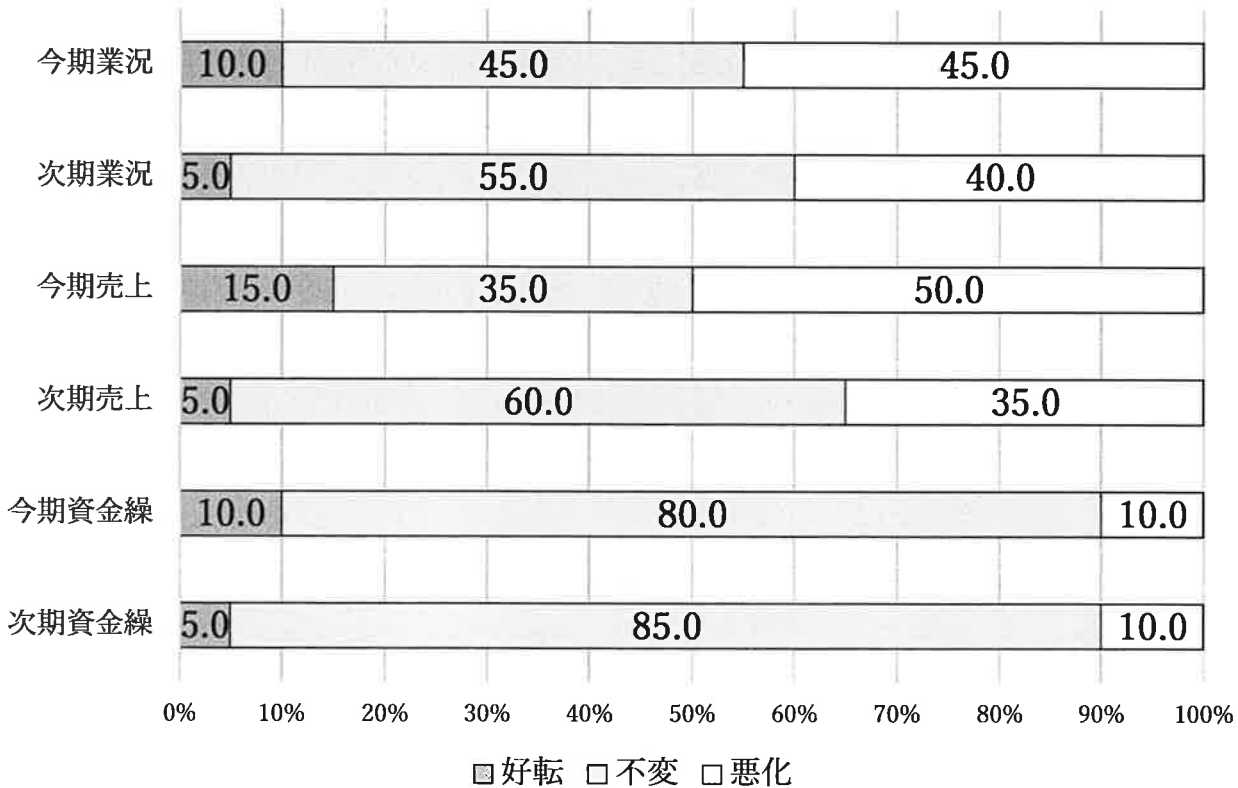
3-2. 各業種の動向



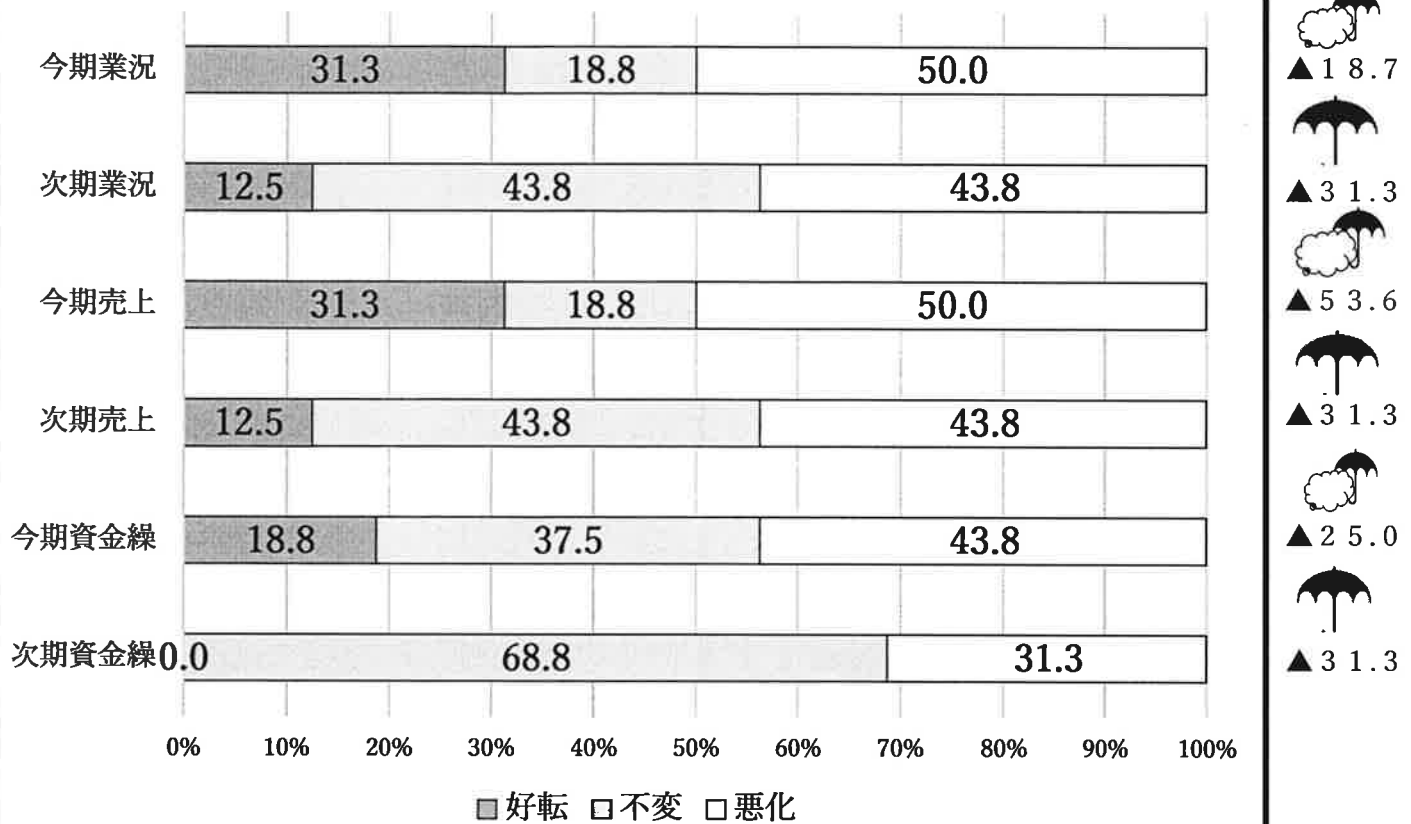
<建設業>



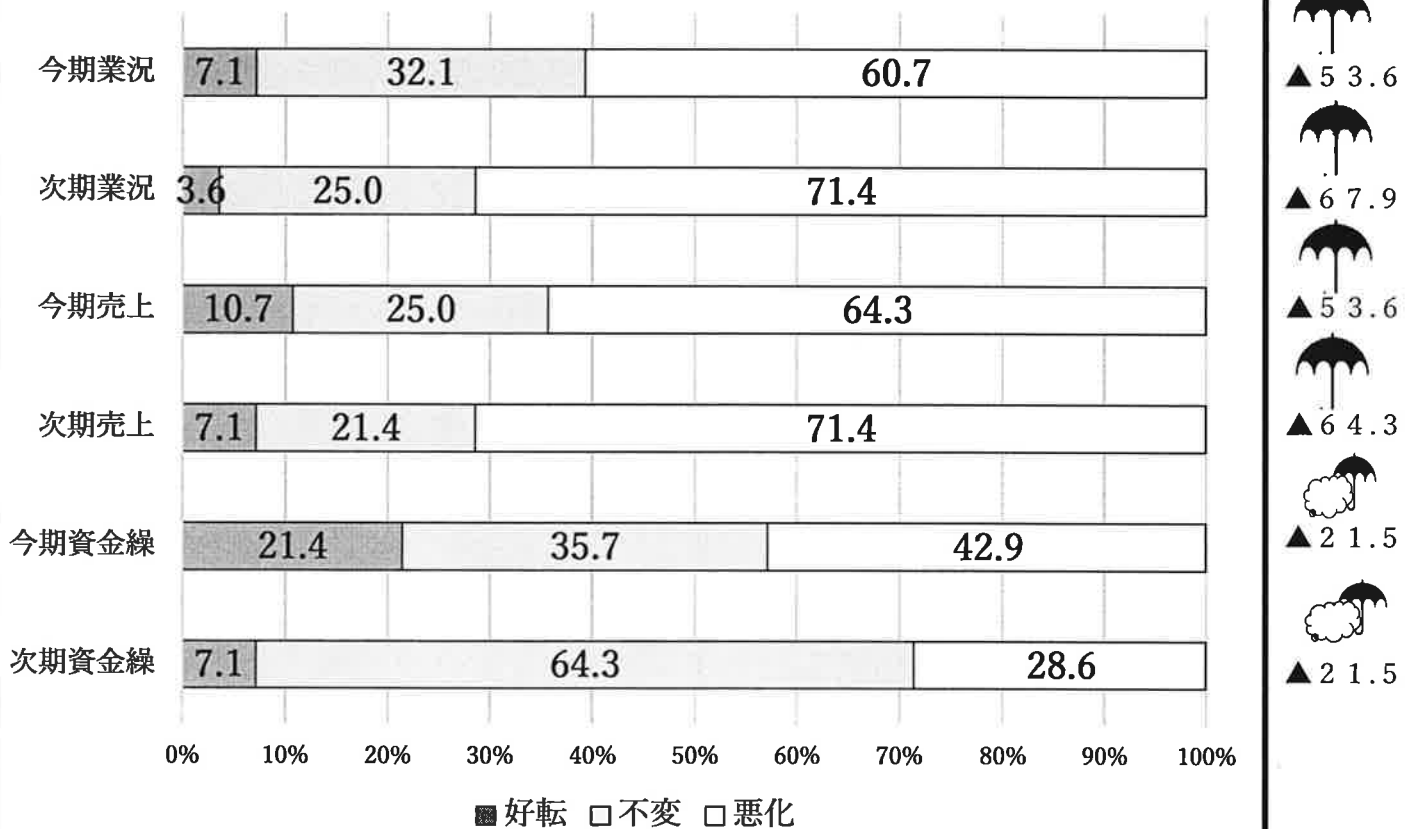
<製造業>



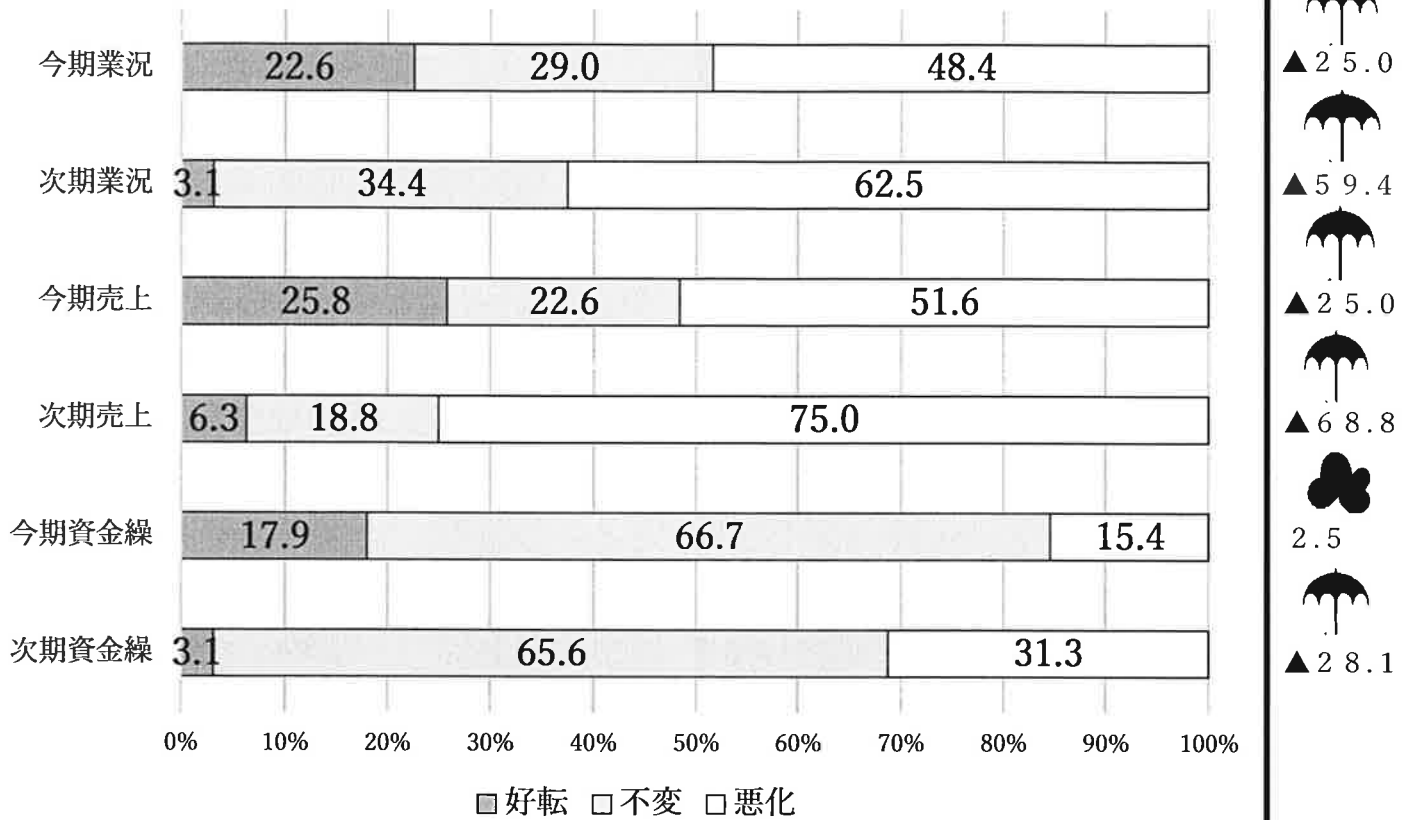
<卸売業>



<小売業>

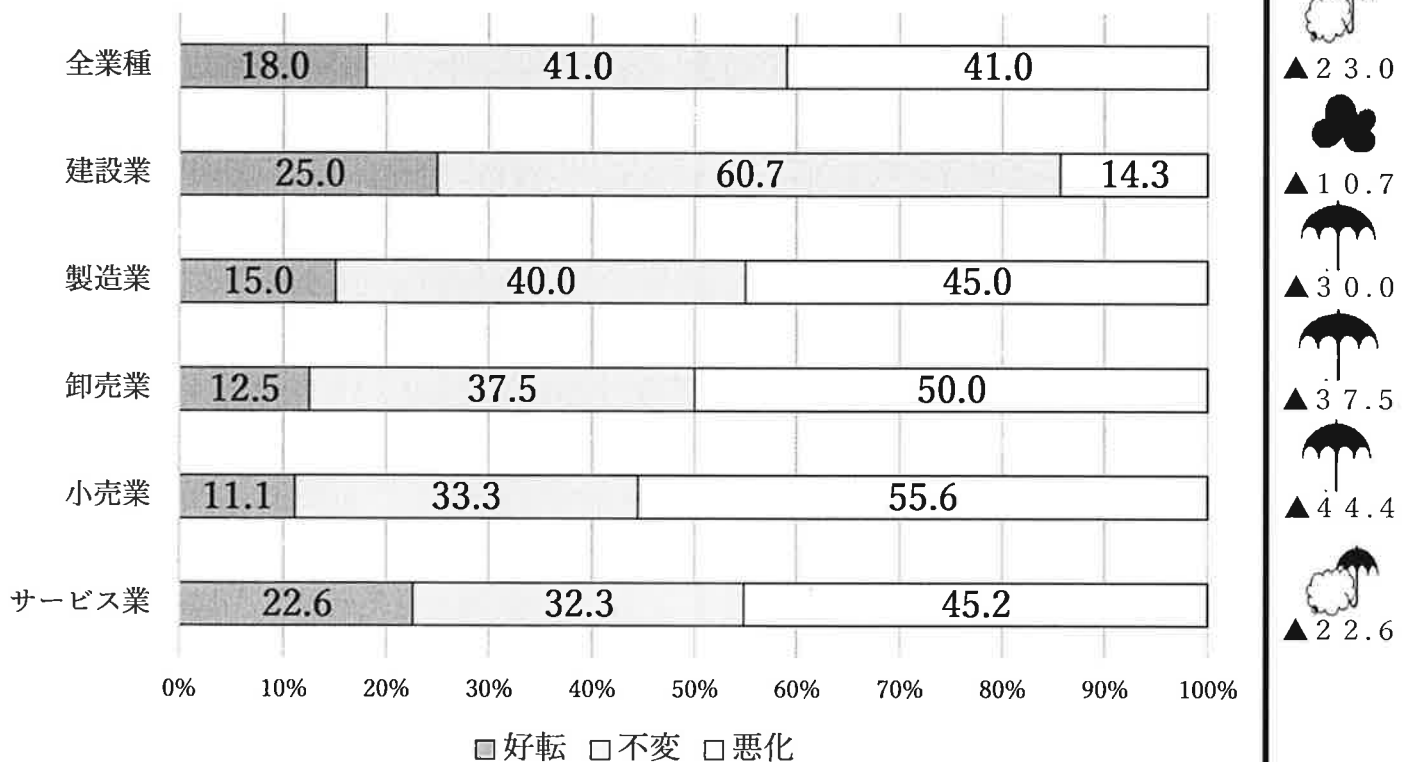


<サービス業>



3-3. 採算

今期の採算<業種別>

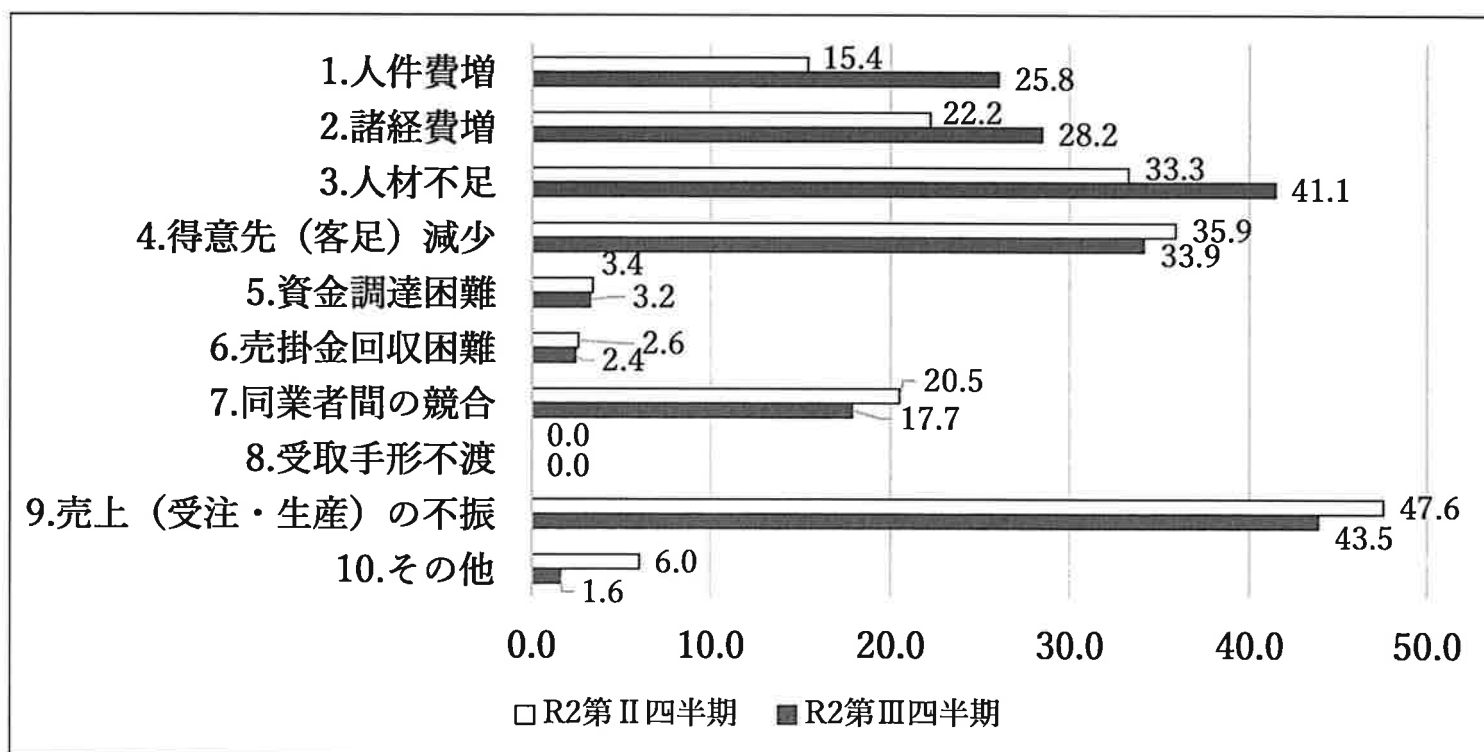


第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	人件費増	諸経費増	売上の不振	同業者間の競合
製造業	売上の不振	人材不足	諸経費増	人件費増	同業者間の競合
卸売業	得意先減少	売上の不振	人材不足	人件費増	諸経費増
小売業	得意先減少 売上の不振	人材不足	同業者間の競合	人件費増	諸経費増
サービス業	売上の不振	得意先減少	諸経費増	人件費増	人材不足
合計	売上の不振	人材不足	得意先減少	諸経費増	人件費増

4-2. 回答割合(%)



注：複数回答あり

第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資状況	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
した	8件 28.6	5件 25.0	2件 12.5	8件 28.6	10件 31.3	33件 26.6
してない	20件 71.4	14件 70.0	14件 87.5	19件 67.9	22件 68.8	89件 71.8
無回答	0件 0.0	1件 5.0	0件 0.0	1件 3.6	0件 0.0	2件 1.6
合計	28件 100.0	20件 100.0	16件 100.0	28件 100.0	32件 100.0	124件 100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	2件	0件	0件	1件	2件	5件
店舗	2件	0件	1件	1件	0件	4件
販売設備	0件	0件	2件	1件	0件	3件
車輛運搬具	3件	2件	0件	2件	2件	9件
付帯設備	0件	4件	0件	3件	5件	12件
OA機器	2件	0件	0件	2件	2件	6件
福利厚生施設	0件	1件	0件	0件	1件	2件
その他	1件	0件	0件	0件	1件	2件
合計	10件	7件	3件	10件	13件	43件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(2件記述あり)

【建設業】

- ・ヘッドマウントタブレット（遠隔確認）

【サービス業】

- ・不動産管理ソフト

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・建設業は今のところコロナの影響ないですが今後の発注に不安があります。仕事量は順調にあるので相変わらず人手が足りません。

【製造業】

- ・業界も地域も同様だが、人材確保が本当に難しくなっている。特に当社の場合、若手が少なく平均年齢も毎年上がる一方で下がる気配が全く見られない。今後もあきらめず努力して行くが、今より研修生を増やしたりオホーツク以外から採用する事で何とか対応しているが別の方法も考えておかないと、事業自体の継続にも陰りが出始めている。

【卸売業】

- ・コロナの影響で、野菜価格下落の影響が来年から出てきそう。

【小売業】

- ・整備士不足で将来が不安です。
- ・再度持続化給付金を願いたい。

【サービス業】

- ・令和3年の景気については大変心配です。コロナウイルスが早期に収束することを願います。
- ・メニューを肉料理中心に絞りこみ、ロスを少なくし身内で働いて人件費を浮かして何とかやり繰りしてるだけ。
- ・年末年始に掛けた GoTo 一時停止により期間中及び、それ以降の受注が減少している状況。冬のシーズンに向けた動きも見通せないため、今後の推移を見守る事しかできず、営業活動も皆無である。
- ・教育が大切な業界の中で制度などの確立、働きやすさ、働き甲斐のある場の提供をどう作り上げるか、資金運用の仕方など、これからの業界において時代に合う考え方、制度、組織、計画作りが必要。
- ・コロナ禍の中、今後の客の動向が心配です。
- ・コロナ自粛要請での影響大。ボイラ2機更新した。(国の省エネ補助を受け) 1/3 助成金を受ける予定。